



プレーパーク レポート

第11号

2023年3月
小鹿野町



北風が寒かったけど、
風で遊びました！

冬のみどりの村でたくさん遊んだよ！

2月26日の小鹿野は北風が強く火もおこせずに寒い一日でしたが、集まった子どもはたくましく遊んでいました。

まずは、前回の開催の遊びの続きとして枯れ枝を使ったお家づくり遊びが始まりました。また、前回コマ回しに興じていた大人たちも再び技を磨く光景が見られました。これらの「遊びの継続が見られる」という点は、遊び場としての進展の指標となっています。

子どもにとっての遊びは未知との遭遇で「やったことないからやってみよう！」も楽しいですが、「楽しかったから、また次もやろう！」も大切です。そんな機会をたくさんつくっていきたく改めて思いました。



プレーリーダー養成講座

今回は養成講座の最終回。遊び場の実施と同時開催で「遊びの場づくり」の現場学習でした。

風の強さの影響で講座実施中は子どもの数があまり多くなかった点が残念でしたが、受講生のみなさんは大人に比べるとどうしても視野の狭い子どもが遊びのきっかけに気付けるような「遊びの見える化」や、大人がしかけた遊びを、受け取った子ども自身が自らの意図で遊びの方向性をコントロールできるような寄り添い方にトライしていました。

そして、もう一つ重要なことは大人自身の遊び心を使うこと。これができている人がいる場所は、子どもにとっても心地よいところになっているはずです。受講されたみなさん、全6回ありがとうございました。

遊びの様子

子どもたちに人気の遊びの「お家づくり」はステップとして、「つくる」から「過ごす」に変化していくことが多いものです。

今回もつくり続けるというよりは、そこでご飯を食べたり、くつろいだりと、過ごす遊びにシフトしていました。

大人たちを招き入れるのも一つの楽しみだったようです。うまく風避けとしても植栽が作用していて日向が暖かなお家でした。



お昼時は室内の風が凌げる場所に移動してご飯を食べる人も多かったです。

午後の開催は通常だと13時半頃からみんなで片付けをするのですが、風で飛ばされそうな物を中心に早めに撤収作業に取り掛かる大人も多かったです。

そんな中、風が吹いても影響なく楽しめるかなとブランコからの靴投げをプレーリーダーと子どもたちが始めました。みなさんは子ども時代に靴投げしましたか？ 今後はぜひ、プレーパークのブランコから思い切り飛ばしても大丈夫な靴で遊びにいらしてください！

プレーリーダーの発案で強風をしのげる場所としてつくった立木に渡したロープを梁にしてシートをペグ止めした簡易なテント。子どもたちがよじ登っている様子を見て、大人も「寄りかかれそう」とテントの外側に寝ころびました。

そこから思いがけない遊びが始まりました。テントの内側に子どもたちが入り込み、寝転んでいる大人の背中や首、頭をマッサージする遊びになったのです。

想像以上の気持ち良さに大人たちは代わるがわる寝転んで子どもたちのマッサージを受けていました。

どんなことでも遊びに変えてしまう。そんな子どもの遊ぶチカラに関心した一場面でした。



自前の工具持参で遊びに来ては、子どもたちや大人の木工のサポートをしてくれている参加者の父親が1月の昔遊びの回に触発されてびゅんびゅんコマが作れる素材を持ち込んでくれました。そんな風に遊び場のことを考えながら過ごしてくれていることに嬉しく思った出来事です。

他の方たちも、こんなのプレーパークにあったら楽しいかもの思いでいろいろな道具や素材の差し入れありがとうございます！



ハイライト